

2月18日(水)
平成27年(2015年)
発行所
〒112-0002
東京都文京区小石川5-4-4
コーティングメディア
編集印刷発行人 コーティングメディア
電話 東京 03(5842)8750 番
振替 00120-9-56573番
http://www.coatingmedia.com

Paint & Coatings Journal

ペイント&コーティング ジャーナル



アジア圏ネットワーク構築目指す

ヤブタ塗料 中国大連市に新工場

ヤブタ塗料(本社・神奈川県小田原市、代表取締役・薮田直秀氏)は工業塗装分野でのグローバル展開を拡大させていく。中国上海市にあるグループ会社・上海真鶴塗装(写真)のノウハウを生かして、4月に大連工場を立ち上げる。それをモデル工場と位置付け、更なるネットワーク構築をアジア地域で見据えている。5月には国内に新工場の稼働を予定しており、国内外でのネットワークを強みに事業拡大を目指す。

ヤブタ塗料は神奈川県に拠点を構える塗料販売店だが、「我々の最終取扱い製品は塗膜」との企業理念から、1990年に工業塗装会社と建築塗装会社を設立。販売業にとどまらず塗料会社としても事業展開を進めている。

海外展開では1996年に中国上海市に工業塗装会社を設立し中国市場でのビジネスをスタート。その後、立ち退き移転に伴い、2003年に上海市の別地区に上海真鶴塗装を設立し日系ユーザーをメインに事業展開を進めている。

その約20年にわたる中国市場での工業塗装ノウハウを生かした次なる展開が、大連市に中国の2拠点目となる大連真鶴塗装の設立だ。既に昨年秋に営業許可を得ており、設備が整い次第稼働に移れるとし、4月の稼働スタートを予定する。

経営権持たない新拠点戦略

そして、新拠点の進出では新たな事業戦略を図る。上海真鶴塗装ではヤブタ塗料がマジョリティを取っている

が、大連真鶴塗装では上海真鶴塗装の出資を30%にとどめて経営権は持たない形を取る。ヤブタ塗料本体の出資は行わない。経営は旧知の仲である中国人パートナーに任せ、上海真鶴塗装(ヤブタ塗料)は設備面や人材を含めた技術指導として関わっていく。

ヤブタ塗料としては、培ってきた塗装ノウハウ(技術、品質管理、人材育成、設備品質)を生かした拠点拡大策として、投資を抑えた形で構築できる。マジョリティを持つパートナーに対しても「技術指導だけでは信用してもらえない。当社も出資することで事業に対するこちらの姿勢も表せる」(薮田勉会長)との効果がある。

また、経営権を中国人が持つことで中国の国内企業としての扱いとなり、外国企業であれば課せられる条件の問題も関係なくなる利点もある。

同社では大連真鶴塗装をモデル工場として第3拠点も見据えている。経営権を持たずに新拠点を増やしていき、グローバル規模でのネットワーク構築を見据えている。その背景にあるのが

ユーザーから高まる要望だ。

国内新工場を建設、連携強化

そもそも大連市に工場を設立したのは「市場調査を2年ほどしていたが、日系企業が多く工業塗装の需要も確か」(薮田会長)との見方があった。そこへ以前から知り合いであった友人と諸条件が合い、新工場を立ち上げたという経緯がある。実際、以前から日系ユーザーからの大連市進出の要望があり、稼働後の受注の目途も立っている。

中国と日本に工場を持ち工業塗装事業を進めてきた同社では、ユーザーのグローバル化などにより商圏はアジアに広がっており、同社としても複数拠点を持つことのメリットは大きい。

薮田直秀社長は「製造拠点を増やしたり、移管させたりしたユーザーが進出先で塗装不良に困っているという声は多い。例えば、ダイキャスト工程はベトナムで行い、塗装、組み付けは中国といったケースも聞く。その国や土地に従来と同じ品質の塗膜提供が求められている」と中国にこだわらずアジア拠点の必要性を感じており、大連工場に次ぐ新拠点の構想も持っている。

こうしたグローバル展開を進める上で重要視するのが国内工場だ。現在の



沼津工場(2工場)の設備が更新時期に来ていたこともあり、裾野市に新工場を建設しそこへ集約する。その新工場をグローバル展開におけるマザー工場と位置付け、「量は追わず、精密、高品質を求めていく」方針だ。

5月頃の稼働を予定している新工場は、1階では従来と同様に鉄やアルミ素材用の前処理、塗装ラインを設計し、2階は同社にとっては新分野となる樹脂向けの塗装に取り組む。ロボット塗装機を導入しており、クリーンルームで精密塗装を行う。「この先、製造業で国内に残るのは医療や半導体など精密部品」と見据え体制を整えている。

国内ユーザーが中国で塗装したい場合には上海か大連で対応し、海外ユーザーが国内で塗装したい場合には裾野新工場に対応する。人材面でも大連工場立ち上げの際には日本から数週間立ち会うなどフォローを行う。その枠組みをアジア地域に広げることで市場での優位性はより高まる。

そのため、大連工場をモデルケースとして、今後も拠点を増やしていく意向。「現地パートナーに経営権を持たせることで彼らのモチベーションアップになる。当社としては「受け皿」となる拠点数が増えればその効果は大きい」。現在、国内工場ではベトナム人研修生を受け入れており、彼らがパートナーに育つことも期待している。

主な内容

- ▷2面 平成27年3月期第3四半期業績
- ▷3面 薄層タイプのテラゾー床を発売 新築、改修の施工に対応 エービーシー商会
- ▷4面 高耐久性のスリッパ剤 共栄社化学

「マンションを買うのも大根を買うのも一緒ですよ」。中古マンションの内覧に行った時、不動産業者に言われた。おそらく不動産業者は、内覧を希望している客が他にもいるから、「大根を買うぐらいの即決力がないと、逃がしてしまいますよ」と言いたかったのだらう。好意的に捉えれば、決断に踏み切れない私の背中を押してくれようとしたのかもしれない。実際、大きな買い物をする時には、店員の最後の一声を期待することもあるものだ。しかし、それほど購買意欲が強くなかったこともあり、煽られているような気がした。物件は悪くなかったが、30分程度の内覧で大根を買う感覚にはなれなかった▶本来の目的はマンションを買うことだから、物件が気に入れば、それで良いのかもしれない。しかし、単にモノの取得では満足しない複雑な消費者心理がある。契約を結んで、はいサヨナラというのはどこか物足りない。「安心」「納得」「満足」は、モノではなく、むしろ人に介在することに気づく。購入を決断するまでのプロセスを共有してもらい、その後も何らかの関係性が得られる。そういうものが担保されないと買う気にはなれない。おそらく塗料も塗装も単に材料や施工を求めているのではない。消費者のストーリーに寄り添うことが求められているのだろう (R)

Maintenance & Power
SUISEI BUILDEC
住宅・オフィス・工場の塗り替えに最適
水性ビルデック 艶消
JIS K 5663 1種

強力ヤニ止め効果
優れた透湿性
防かび・防藻効果
つや・色調整可能
幅広い適応性
優れた塗膜性能
微臭

防かび・強膜アクリル樹脂系水性塗料
艶有 5分艶・3分艶
JIS K 5660 JIS K 5663 1種

GREEN宣言
F☆☆☆☆
*** 彩りに楽しさをそえて... 未来へつなぐ ***
DNT
DAI NIPPON TORYO
大日本塗料株式会社
●大阪 ☎06-6466-6618
●東京 ☎03-5710-4501
●名古屋 ☎052-332-1701
http://www.dnt.co.jp/
塗料相談室フリーコール いろいろい
0088-22-1641